

# 中学校再編準備委員会の進ちよく 及び学校改修について

教育委員会事務局 教育総務課

# 1 中学校再編準備委員会の進ちよく

## (1) 会議の開催状況等

名称	開催日	議題	現時点までの協議結果
第6回PTA部会 (合同)	1月18日	制服、体操服について	●制服及び体操服の方針について協議 「新1年生から新しいデザインの制服及び体操服を着用し、新2年生と新3年生は変更せず、再編前の制服及び体操服を着用する。ただし、希望する生徒は、再編先の制服と体操服に揃えても良い」という方針で決定した。
第7回PTA部会 (合同)	2月13日	新しいデザインの制服と体操服の選定方法について	●新しいデザインの制服及び体操服の選定方法協議 ・新しいデザインの制服と体操服の選定は、PTA部会が主体となって進める。 ・価格やデザイン、機能面などの条件を検討し、作成した企画提案要項に沿って、事業者から企画提案を募集する。 ・3月中に事業者から提案されたデザインを審査して複数の候補に絞る。 ・4月から各学校に複数のデザイン候補を展示し、児童生徒による投票で最終候補を決定する。
第4回通学安全部会 (新陽明)	2月6日	スクールバスの運行ルートについて	・第2回準備委員会において、スクールバスの運行本数は5本で決定したので、ルート案について協議した。 ・学校と保護者が協議して提示されたルート案について、積雪時にスクールバスを試走した結果から、夏季ルートと同じルートで通行可能であることを確認し、ルート案を部会として決定した。 〈ルート案〉①：六呂師～橋爪～伏石～松丸～川嶋～陽明中 ②：蕨生～塚原～井ノ口～田野～陽明中 ③：八町～柿ヶ嶋～下唯野～七板～富嶋～森目～陽明中 ④：上野～下麻生嶋～陽明中 ⑤：後野～朝日～九頭竜IC～陽明中 ・和泉地区は、市営バスを活用する方向で検討を進めていく。停留所の設置場所が課題である。 ・乗車時の生徒の把握や緊急対応については、現在のスクールバスの運行の在り方を基本として、様々なケースへの対応を今後検討していく。 ・停留所については、新年度に入ってから学校、保護者で協議して決めていく。
第4回通学安全部会 (新開成)	2月7日	スクールバスの運行ルートについて	・第2回準備委員会において、スクールバスの運行本数は3本で決定したので、ルート案について協議した。 ・学校と保護者が協議して提示されたルート案について、積雪時にスクールバスを試走した結果から、夏季ルートと同じルートで通行可能であることを確認した。 ・現在、市営バス本堀兼線を利用して登校している佐開、今井、五条方区の小学生について、公共交通網の見直しに合わせて中学校のスクールバスに乗車させることで了承した。 ・ルート案については今後も検討を続ける。 ・乗車時の生徒の把握や緊急対応については、現在のスクールバスの運行の在り方を基本として、様々なケースへの対応を今後検討していく。 ・停留所については、新年度に入ってから学校、保護者で協議して決めていく。 〈ルート案〉令和5年7月末までに決定する予定

## (2) 以降のスケジュール

- 3月20日(月) 第3回新開成中学校・新陽明中学校再編準備委員会(書面による開催)
- 3月27日(月) 中学校再編に係る制服・体操服企画提案二次審査(PTA部会による審査)
- 4月下旬 中学校再編に係る制服・体操服企画提案三次審査(児童生徒による投票)

# 2 学校改修

## 再編計画・管理計画

### ■再編計画及び管理計画概要

大野市小中学校再編計画(令和3年12月改訂)	
施設の現状	令和2年度に <b>長寿命化改修の適否</b> (コンクリート強度)を調査し、尚徳中校舎以外は適していると判明
大野市が目指す学校教育	①大野らしさが生きる教育 ②大野市教育理念の具現化 ③子どもの成長過程を踏まえる ④大野市の地域性を生かす ⑤自信を育む教育で成長の基礎をつくる
大野市小中学校再編計画	・基本となる考え方 ①教育環境の充実 ②成長過程の重視 ③段階的な再編 ④地域との関係 ⑤慎重に丁寧に着実に ・学校数 中学校：5校→2校 小学校：9校→7校 ・再編の時期 <b>中学校：令和6年度</b> 小学校：令和8年度 ・再編の方法 <b>既存校舎を活用</b>

大野市小中学校施設管理計画(令和4年3月策定)	
学校施設の実態	・構造躯体：コンクリートの圧縮強度試験や劣化調査の結果、尚徳中校舎以外は今後の <b>適切な維持管理</b> によって目標耐用年数80年の使用が可能と判明 ・構造躯体以外及び設備：経年劣化がみられたため詳細調査の上改修を行う必要がある
学校施設の目指すべき姿	4つの視点 <b>①安全・安心な学校施設 ②教育環境の充実 ③生活環境の向上 ④学校施設の脱炭素化</b>
学校施設の改修方針	・ <b>目標耐用年数</b> 鉄筋コンクリート造・鉄骨造⇒80年程度 木造⇒50年程度 ・改修の内容 学校施設の改修内容及び改修周期を明記
改修の実施計画	・改修の優先順位 再編受入側となる開成中、陽明中、下庄小、有終南小、富田小を優先 ・年度別改修計画 令和5～6年度(開成中・陽明中・下庄小) 令和7～8年度(有終南小・富田小)

### ■施設概要

学校名	主な建物	構造	階数	延床面積(m <sup>2</sup> )	建築年度	経過年数(R5.4.1時点)
開成中学校	特別教室棟(北)・便所棟(東)・玄関棟	RC造	3	3,056	S49	48
	特別教室棟(西)	RC造	1	351	S50	47
	普通教室棟・便所棟(西)・給食棟	RC造	3	2,495	S48	49
	屋内体育館	RC造	2	1,586	S50	47
	合計			7,488		
陽明中学校	管理・特別教室棟	RC造	3	2,504	S47	50
	特別教室棟	RC造	2	428	H 3	31
	普通教室棟	RC造	3	2,764	S46	51
	屋内体育館	RC造	1	1,474	S48	49
	合計			7,170		
下庄小学校	普通教室棟(南)	RC造	3	2,580	S59	38
	普通教室棟(北)	RC造	3	2,611	H21	13
	体育館	RC造	1	1,260	H 1	32
	合計			6,451		



開成中学校



陽明中学校



下庄小学校

# 改修内容

学校施設の目指すべき姿	改修項目	改修内容	改修図等
(1) 安全・安心な施設	外部	外壁：浮きやひび割れ補修の上全面塗装し躯体の耐久性を向上 屋上防水：耐用年数15年経過部分の防水改修 <b>開成中：傾斜し危険な「ラウド」西側擁壁の改修</b>	   
	内部	床・壁・天井：配置変更を伴わない部屋や再使用可能な材料以外は原則改修	
	設備	給排水等：土間下以外は更新、教室に換気扇取付、消火設備更新 電気：老朽ケーブルや分電盤の更新	
(2) 教育環境の充実	法適合など	アスベスト含有建材の適正処理 陽明：2階建て渡廊下棟の耐震改修 下庄：EV既存不適格改修、PCB含有変圧器等撤去	   
	普通教室	間仕切：教室と廊下の間仕切を可動建具とし普通教室と廊下を一体的に利用(図①) 黒板：スライド機能付プロジェクターと電子ホワイトボードの整備(図②) 背面収納：A4ファイルやランドセル(小学校のみ)が縦に入るロッカーの整備(図③)	
	特別教室	図書室：集団活動や交流、児童生徒の居場所として個別学習やくつろぎの場所を設けたメディアセンターとして機能強化(図④) 特別教室前の廊下：壁を利用して教科の情報を掲示するメディアウォール・メディアスペースを設置し、学校全体を学びの場に整備(図⑤)	
(3) 生活環境の向上	職員室	職員室：職員一人当たりの執務面積を広げ働きやすい環境を整備(図⑥)	  
	トイレ・玄関等	トイレ：全て洋式便器に改修(図⑦) 各階1か所に多目的トイレを整備(体育館除く) 玄関：長靴が入れられる下足入や使いやすい傘立を設置(図⑧) 廊下：中学校2校の屋上に3階を繋ぐ歩廊ゲートを設置(図⑨)	
	バリアフリー	中学校2校：11人乗りエレベーターの増築(図⑩) 3校共：玄関にスロープや手摺を設置(図⑧)	
(4) 脱炭素化	外構	歩車を分離したスクールバス発着場や駐車場、中学校2校に駐輪場を整備	      
	省エネルギー	照明：省エネタイプ照明以外はLED照明に改修 窓ガラス：教室のみペアガラス設置(廊下や体育館は除く) 家具・備品：一部に県産木材を使用した家具や備品を整備 内装：教室・図書室・玄関などの一部を腰板張り(図②)	

注意：改修図等に記載の素材や寸法・形状・色は施工段階で変更となる場合もある。



# 事業費概要

## ■主要な事業費概要

【歳出】

学校名	継続費(R5~R7)				工事監理委託	その他 備品購入 (概算含む)	計
	工事請負費			計			
	項目	年度	内訳				
開成中学校	校舎・体育館	R5	548,711	1,100,623	45,807	26,700	1,217,650
		R6	500,548				
	外構	R7	51,364				
	西側擁壁	R7	44,520				
陽明中学校	校舎・体育館	R5	482,952	1,100,551	44,024	25,845	1,170,420
		R6	561,981				
	外構	R7	55,618				
下庄小学校	校舎・体育館	R5	378,209	765,787	30,633	23,919	820,339
		R6	343,719				
	外構	R7	43,859				
計				3,011,481	120,464	76,464	3,208,409
継続費合計				3,131,945			

実施設計業務委託の報酬実施要領では、工事費積算限度額は「公告時点での金額」とし、「建設資材や労務費の高騰による建築コストの上昇など建設業界を取り巻く状況が変化する場合にはこの限りではない」こと、「備品購入費は含まれない」ことを明記している。上記事業費は、令和5年4月までの物価高騰による単価の増額分を見込んだ額としている。大野市工事請負契約約款第25条に基づく物価水準の変動による増額分は含まれていない。

【その他】

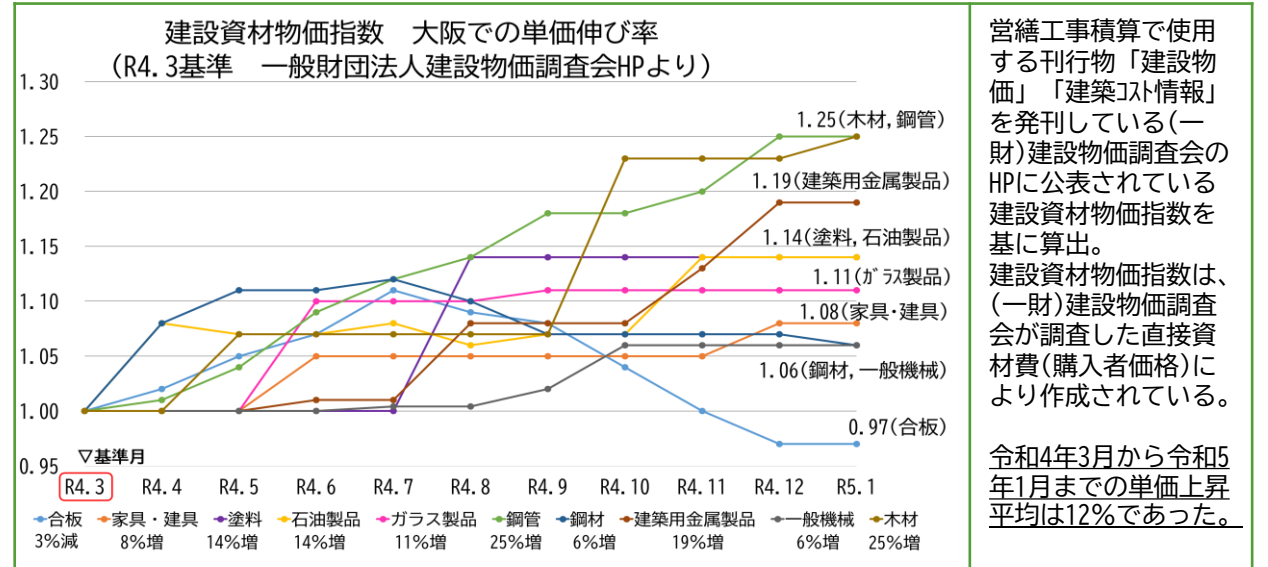
項目	整備概要
備品整備	①廃校となる学校の備品を移管する。 ②30年経過し老朽化した備品は新たに購入する。 ・児童生徒用机椅子：約370台 ・教師用机椅子：約100台 ・給食備品：回転釜、消毒保管庫、冷蔵庫、ガスライバー等 ③新しい学びのための備品を購入する。 ・ICT対応白板用プロジェクター：約80台 ・メディアセンター用机等：約10台 ・オープンスペース用机等
中庭交流広場整備事業	3校共、中庭をより活用するために内履きで出られるデッキスペースを設ける予定である。令和7年度にアウトファンディングを活用して整備したい。 【目標額：開成3,500+陽明3,500+下庄3,000=10,000千円】

(単位：千円)

【歳入】

	財源内訳					R5~7見込み	
	担当省	事業名		補助率	対象校		
国費	文科省	学校施設環境改善交付金	学校統合に伴う既存施設の改修	長寿命化改良	5.5/10	開成・陽明	1,406,053
				大規模改造(老朽)	5.5/10	下庄	
				大規模改造(トイレ改修)	5.5/10	下庄	
				地震補強	1/2	陽明	
	国交省	都市構造再編集中支援事業補助金		1/2	開・陽・下	107,445	
地方債	過疎対策事業債(95%)					1,328,200	
基金	学校施設等整備基金(令和4年度末残高見込み501,084千円)の取崩し					200,000	
	森林環境譲与税基金(対象：県産家具・備品)の取崩し					20,000	
市費						146,711	

<建設資材物価指数の推移>



# 今後の予定

令和5年3月時点 ※変更もあり得る

年度	令和4年度			令和5年度												令和6年度												令和7年度																											
	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月																	
学校改修	実施設計		入札・契約			校舎・体育館工事																		入札・契約		外構工事																													
	校舎・体育館・外構の工事監理																		備品購入										備品購入										備品購入										クラフトファンディング				デッキ工事		
議会	3月議会		6月議会			9月議会			12月議会			3月議会			6月議会			9月議会			12月議会			3月議会			6月議会			9月議会			12月議会			3月議会																			
開成中学校	工事中は空き教室等を利用することとし、仮設校舎は設けない					校舎階段	普通教室棟東側			普通教室棟西側			特別教室棟西側		特別教室棟東側 ILHター										外構・西側擁壁																														
陽明中学校						校舎階段	普通教室棟西側			普通教室棟東側			再編予定	特別教室棟西側										外構				デッキ																											
下庄小学校	北棟2F 給食室	北棟1F	北棟3F		職員室			南棟 児童玄関										外構				デッキ																																	
	体育館床	体育館ト ク ラフト 出入口					体育館 給食室																																																